

# 橋田 東声

朝の湯に浮きてただよふ袖子の実のきんの肌へにさす日の光

こころもちあつみをもちて春の日に咲きかきはまる木蓮の花

あさかぜに嘶く馬の青駒はいさましきかもこゑ澄みとほり

白菊はただつつましき花ながら月のてらせばたけたかくみゆ

〈出典 『日本の詩歌 29 短歌集』 (中央公論社、一九七〇年)〉

【著者】橋田 東声 (はしだ とうせい)

一八八六 (明治一九) 年—一九三二 (昭和五年)  
歌人。高知県の生まれ。

【著書】歌集『地懐』など